

目👁️と耳👂と心💖で「聴く」

子どもたちに身につけてほしい大切なことの一つとして、「人の話をしっかり聴く」があります。「聞く」という漢字もありますが、「聞く」と「聴く」とはどのような違いがあるのでしょうか。「聞く」は、「音として会話をきく」「情報を耳に入れる」といった意味です。「聴く」は、「耳を傾け、相手の心に寄り添いながらきく」といった意味になります。「聴く」という漢字には、そのつくりから「十四の心（美しい・新しい・楽しい・嬉しい・素直な・優しい・広い・共感する・感謝する・清らかな心等、いろいろな解釈があります。）を持って耳を傾ける」（「目」を横にすると「四」）、「聴」の右側は「徳」の右側と同じことから「徳を持って耳を傾ける」、「十の目（視点）で耳を傾ける」などの意味があります。いずれにしても「聴く」とは、耳に目と心をプラスしているのだから、心をこめて、心の目で見て感じて聴くことが非常に大切だと思います。はじめから「私は知っている、そんなことわかっている」「自分が正しい」「相手のことを決めつける」のではなく、謙虚で素直な気持ち（心）で耳を傾けること、こんな考えもあるのかといろいろな視点（目）で耳を傾けること、それが学習面（学力向上）でも、生活面（コミュニケーション力・相互理解）でも子どもたちの成長に大きくつながります。特に、確かな学力を子どもたちに身につけさせるもっとも基本となるのが「聴く」ということです。本校の竜の子15か条の一つに「聞き方あ・い・う・え・お」があります。また、高学年の伝統的な聞く態度として「正対する」という聞き方があります。学校全体として、「聞く」→「聴く」という姿勢を身につけさせたいと思います。もちろん、子どもだけでなく、私たち大人も「目と耳と心で聴く」姿勢を大切にしたいものです。（昨年度の「学校だより12号」より加筆）

■ シェイクアウト訓練をしました！～地震想定避難訓練～

6月17日（水）の10：00から、甲斐市防災無線での「Jアラート」放送（緊急地震速報の訓練放送）に合わせて、シェイクアウト訓練をしました。「シェイクアウト訓練」とは、地震から守る安全行動を、それぞれがいる場所で、1～2分程度一斉に行う訓練です。基本の行動は①「まずひくく」②「あたまをまもり」③「うごかない」です。そして、18日（木）の4校時と19日（金）の昼休みに予告なしのシェイクアウト訓練を行いました。子どもたちは、それぞれの場所で一次避難行動をとることができました。天災はいつ起こるかわかりません。訓練のための訓練でなく、より実践的な訓練を実施し、「自分の命は自分で守る」ための行動ができる子どもたちの育成を目指していきたいと思います。



■ 3年生の初めての学習～「書写：習字」＆「音楽科：リコーダー」～

3年生は書写で、初めて習字（毛筆）を行いました。用具の説明や並べ方の確認のあと、実際に筆を使って、持ち方や筆の動かし方を練習しました。初めての習字に、みんな一生懸命に取り組むことができました！



初めてのリコーダーの授業では、「ささえ方」「姿勢」「音あなのとじ方」そして、「音の出し方」（タンギング）の学習をしました。「シ」の音だけを使った「ちょっとまって」という曲では、初めてにもかかわらず、やさしい息づかいできれいな音を響かせようとしていました。



■ 5年生の初めての学習～「家庭科：裁縫実習」～

5年生で新しく学習する教科は家庭科です。家庭科では1学期に小物づくりの製作を行います。まずは裁縫の基本として玉結びをしました。時間内にいくつの玉結びができるかのチャレンジでは、みんな楽しく集中して取り組んでいました。すてきな小物づくりになることを期待しています！



■ 防犯教室～「たつのこちゃんねる」で放送します！～

6月17日（水）に韮崎警察署の生活安全課のお二人の警察官の方が、防犯指導のビデオ撮りのために来校しました。いつもは全校で防犯教室を行っています。今年度は、ビデオ放送で行います。7月3日（金）のつといの広場の「たつのこちゃんねる」の中で放送します。

